

## 戦後70年 戦中の移情閣への校舎移転と 戦争体験を聞く特別授業を実施

日 時 平成27年10月6日 場 所 舞子 移情閣 (孫文・六角堂)

今年(今年)は終戦(第2次世界大戦)70年の節目の年。母校も戦中、校舎が海軍経理学校に接收され、生徒が荷車・リヤカーで机や椅子を運びながら、長田の国民学校～垂水の豊唾学校と移転し、最終的に舞子公園にあった移情閣に本部を置き、公園の松林で授業を行う事態になりました。

また、3年生以上は学徒動員令で授業を止め、西明石の川崎航空機へ派遣されました。昭和20年には戦局が悪化し、1月にはB29の集中爆撃で工場は壊滅。また6月には学徒の避難先明石公園が爆撃を受け、県商生8名を含む多数の男女学生が悲慘な犠牲となりました。

戦後70年を経過して、日本は奇跡的な発展を遂げ、平和を享受していますが、このかけがいのない平和の尊さを次世代に引き継ぐためにも、節目の年に在校生がリヤカー引きを再現、戦争体験の先輩宝官・河合・石破 から戦時中の県商生の生活の様子を聞く機会が設けられました。戦争はしてはいけない。されてもいけない。平和の尊さを改めて体得した1日でした。

この様子は当日夜のサンテレビのニュースでも放映され、翌日の神戸新聞にも掲載されました。

宝官 進一郎 67回生 記



写真は サンテレビより



2015.10.7 神戸新聞